

事業所名

障がい児デイサービスセンター あゆみの里

支援プログラム

作成日

2024 年

10 月

30 目

法人（事業所）理念		「はびねず」「HAPPINESS」という言葉は「幸福を追求する」という意を表しています。人間らしく自分らしく生きていきたいという幸福追求の想いは、ひとりひとりが有している個人として当たり前基本的欲求です。ひとりひとりが自由に、自立や自己表現を目指して生きていく事ができ、個人の尊厳や人格が大切にされる環境が整えられなくてはなりません。 当法人は障がい者が住み慣れた地域で、安心した生活が送れ、自立した生活ができるよう「広い心とさわやかな笑顔」をモットーとして、信頼される施設・利用しやすい施設を目標にサービスを提供します。										
支援方針		活動を通じて、日常生活（家庭・学校生活）を送る中で自信のない事・苦しい事が少しでも前向きに取り組む気持ちになるように、また得意な事はさらに自信を持って取り組むようになるための支援を行います。児童の放課後・学校休業日の活動の場を提供します。 「ここは大丈夫」「ここならほっとできる」と感じてもらえる《安心・安全な居場所作り》を心がけ、ひとりひとりの思いに寄り添った支援を行うように努めてまいります。										
営業時間		平日 学校休業日	13 8	時	30 30	分から	17	時	30	分まで	送迎実施の有無	（あり） なし
		支 援 内 容										
本人支援	健康・生活	健康観察（検温、視診、学校・保護者からの申し送り）、生活動作（食事、排泄、着脱）の支援 外出（戸外でのルールを知る、安全に行動する、交通ルールを知り守る、身体を動かす） 調理実習（簡単な調理の体験、食への興味へつなげる）避難訓練（指示に従って行動する、経験を積み重ねる）										
	運動・感覚	ラジオ体操（学校休業日）、散歩、身体を動かす遊びや軽い運動（バランスボール、ボール遊び、トランポリン等）を行う（体幹、筋力の維持） 個別課題（ボタン、スナップ、ひも通し等の微細運動） 音楽に合わせてのふれあい遊び（聴覚・触覚・リズム感）										
	認知・行動	外出（車内でのルールを知り、守る。季節の変化を感じる）、室内遊び（粘土、スライム、ボードゲーム、ぬりえ等） 個別課題（文字、数、表情・気持ちの理解、空間把握の認知） 視覚支援（スケジュール提示、タイマー、時計で次の行動に移る）										
	言語 コミュニケーション	自分にあったコミュニケーションツール（言葉、身振り、絵カード、書字等）で表出する 個別課題（特性に応じた読み書き） 遊びを通して友だちと話したり、共感し合える場面で聞く力、話す力、関わる力を養う										
	人間関係 社会性	個々の遊び、職員との遊び、友だちとの遊びと個々の様子に応じて無理のないよう移行する 他事業所との交流等を通じて人間関係を広げる 外出（公共の場での約束やルールを知り守る）										
家族支援		モニタリング（6か月に1回）、個別支援会議（年1回）、関係機関との連携、困りごとの相談（随時受け付け、ご希望の際は面談の調整をさせていただきます）							移行支援		必要に応じて学校等を訪問し、支援方法等の関わり方について共通理解を図り支援目標、支援内容の設定を行っています。事業所以外での生活も充実するよう取り組んでいきます。	
地域支援・地域連携		各関係機関との連携（相談事業所、学校、放課後等デイサービス、放課後児童倶楽部等）を図り、自立に向けたサポートを行い支援をしていきます。							職員の質の向上		外部研修、内部研修、リモート研修を行い、支援方法等検討しながら職員のスキルアップに努めます。	
主な行事等		各季節イベント行事（七夕、クリスマス会、ひな祭り等） 外出イベント（初詣、花見等）										